

令和3年度 第2回役員会

1 日 時 令和3年11月25日(木) 19:00~20:30

2 場 所 三宮センタープラザ 西館6階 第8会議室

3 出席者 濱村会長、山下副会長、古川副会長
常任幹事(能沢、溝口、山下、井上、浅野、森田、上田)
KTC 理事(室井副理事長、水口理事、尾原理事)
大学代表(芥川教授、加藤准教授)
暁木会顧問(池野顧問、松下顧問、本下顧問、伊藤顧問)

4 議事内容

(1) 大学の近況(資料1)

- ・新型コロナウイルス感染防止の対応が令和3年11月時点で緩和されたが、対面授業とオンライン授業が併用される状況であり、学生が従前のように大学キャンパスに戻るといった状況ではない。
- ・就職活動に関する来年度の担当は森川教授となり、12月2日の就職・進学ガイダンスからスタートし、2月14日から約90社の個別企業説明会が予定されている。
- ・本年度の就職活動において、暁木会には未内定者に対する就職斡旋を協力いただき大学として感謝する。
- ・令和3年度の大学の体制として、専攻長は織田澤教授、教学委員は瀬木准教授を予定している。
- ・新型コロナウイルス感染防止への対応に際し、暁木会からの支援には感謝する。本年度も困っていることがあるかどうかを学生に確認したが、特別な問題はない状況である。

(2) 会費納入状況及び会費会員増強策(資料2)

- ・11月の銀行引落等による会費納入は1198人であり、口座の残高不足等により引き落としができなかった30人については、2月に再引き落としに向けて、口座への入金等の要請を行う。
- ・会費会員の勧誘については、一水会等の集まりに応じて、実施していく。

(顧問)

- ・名簿改訂を契機に、会費会員への勧誘を強化すべきである。
- ・会長を輩出する学年が会費会員の増強に取り組み、暁木会を盛り上げられるよう、早めに次期会長の打診をするべきである。
- ・卒業生が多いが会費会員が少ない企業等から、常任幹事を選出するなどの案も考えられる。

(3) 暁木会ニュース(資料3)

- ・寄稿内容は概ね調整できており、大学に依頼する内容が多いが協力をお願いする。

(4) 役員改選(資料4)

- ・会長、副会長、常任幹事の新役員候補案を総会で諮れるように引き続き調整していく。

- ・ 会長、副会長、常任幹事のうち、兵庫県、神戸市の職員が多くを占める傾向にあるが、来年度の役員改選案では、兵庫県、神戸市の職員の割合は減る傾向にある

(5) 令和3年度総会について（資料5）

- ・ 総会の議事は、「会務報告」「会計報告」「監査報告」「役員改選」「予算案」とする。
- ・ R3年度総会については、対面形式、飲食しないことを想定しているが、大学側と協議して、次回常任幹事会で協議する。
- ・ R3決算は、暁木一水会の講演会がコロナ禍の影響により中止されるなど、例年より減額された事業費となる。
- ・ R4予算においては、コロナ禍前の通常並みの予算案で総会に諮る。

(6) その他

①大学の図書館に保管されている論文の取り扱いについて

- ・ 大学の図書館に保管されていた論文約60箱分を市民工学科に引き取ったが、法的な取り扱い等を調べている段階である。

（顧問）

- ・ 告知した上で、論文の返却を要望される者に対して、暁木会ニュースの発送時などを活用し返却してはどうかと考える。

②名簿発行について（資料6）

- ・ 名簿の改訂版を発行してから2年後に修正版を発行しているが、印刷費が高騰しており、会計を圧迫しているため、R4年度の修正版については「暁木会HPへの名簿掲載」に変更することを検討している。

（顧問）

- ・ 会員登録の増強という側面を考慮して名簿の内容の更新は2年ごとに実施するべきである。その上で、印刷製本をHPへの掲載に変更することは問題ないと思うが、その効果が明確にわかる資料を提示してほしい。

③暁木会HPの更新について

- ・ 暁木会HPでは、更新がほとんどされていないページがあるので、その内容を精査した上で、不要なページは削除することを検討している。

（顧問）

- ・ リニューアルするのであれば、見たくなるHPを目指してほしい。

④会費会員の管理について

- ・ 会費会員が登録されているシステムにアクセスするために、暁木会でPCを購入して、アクセスできる環境および体制を整備する。

⑤神戸大学・KTC・暁木会意見交換会について

（大学）

- ・ 大人数が集まったの懇親会は難しい。

（暁木会）

- ・ 懇親会はせずに、人数を絞って大学と暁木会だけで意見交換を1月に実施する。